

pirika.comの研究記録

Pirika News

円安

円安 1 \$ = 152円

1990年6月以来の円安水準。

僕は1990年の9月からカルフォルニア工科大学(CALTECH)のGoddard教授のところに留学した。円安で留学したとは全く思っていない。

1 \$ = 360円 (円は角度で言えば360度)

それから、どんどん円が強くなって (価値が高くなって) 150円ぐらいまできた。

円が高くなれば、留学生には良いことだらけ。

とはいかず。

9月に留学を始めて、翌年には湾岸戦争が始まった。

いろいろゴタゴタがあって、会社は給料の送金を忘れるという失態をやらかす。

メールとかがあるわけではなく、「これ以上送金が無いなら、会社辞めて現地の会社で働く」とAirmailを書いた。

自分にとっては節目の1\$=152円だ。

円安だと輸出企業が儲かって株が高くなる。そのあたりまでは何となくわかる。

例えばアメリカでは、卵が10個で2000円だったという。それなら、日本で300円の卵をアメリカで1800円で売る。1500円の儲けだ。

でもアメリカで卵が高いのは、飼料を作っている人、飼育している人の取り分、配送する人件費が高くなっているから。スーパーなどの小売の取り分も高くなっているから。

とすると、300円の卵を輸出したところで、輸出の費用、配送、小売ががっばりかかるので1500円も儲かるはずがない。

日本では飼料はほぼ輸入に頼っているんで、その分は世界共通よりさらに高い。日本の卵が安いのは、生産に関わる全てのものが安いから？

つまり円安で輸出が好調だというのは、日本の労働力をダンピングしているからに他ならない。そのダンピングを続けるために、100歳になるまで働けとか、女性も働けとか言ってい

る。そして働けば働くほど、日本の資産は海外に移転していく。それがダンピングの本質だと思う。

金利の差だとか、色々難しいことを言っているけど、話は簡単。

円を持っていても価値がないということ。

老後に年金以外に2000万必要とか言われたけど、その2000万の価値は半減したということ。生産性を上げて労働力のダンピングを止めるしか対策はない。

HSPiP-MI講習会

費用を高く設定しているのだから、そんなに多くの講習依頼があるとは思っていなかった。ところが今は限界まで講習会が入ってしまった。新しい申し込みは来年以降になってしまう。

pirika Newsも書いている暇がないくらい忙しい。

生産性を上げなくては将来はない。なんて書いているのだから、そのニーズが増えているのはありがたいことだ。でも講習会の効率を上げる=生産性を上げるってどうしたらいいんだろう？

いきなりピンチだ。それは、後にも書いているけどプログラムの問題もあるのだが。

大学の授業

今年の4,5月と6月の頭に試験で非常勤講師13年間にピリオドを打つ。東日本大震災の年からか。感慨深いものがある。非常勤講師を始めた頃は、会社での若手教育に限界を感じていた。せっかく大学で学んで会社に入ってきて、すぐに論文も読まない研究員になってしまう。わからなくもない。現場で手を動かすのは大学での研究に比べて圧倒的に楽しい。

私は情報化学系の仕事の仕方を開拓している頃だった。その頃は物性推算と逆設計と呼んでいた。ガラスの物性をニューラルネットワーク法で予測する。遺伝的アルゴリズムを使って欲しい物性のガラス組成をコンピュータ上で作り出す。そんな論文を書いて、ガラス以外にも拡張しようとしていた。

大学で学べるような領域では無いので、会社の若手にも興味を持って学んで欲しかった。しかし、会社としては昼休みなどの時間外に自主的にやるように。という扱いで結局潰れてしまった。

それなら、会社に入る前の学生に教えるしかない。と、横浜国大の非常勤講師の就任の依頼を受けた。

それも色々あった。「大学では公知のこと以外教えないと確約しろ」と言われた。それに関しては簡単だ。教える内容を全部、pirika.comで公開して仕舞えば良い。

次には、大学で講義をして得た収入を個人で受け取る場合には、授業の日は年休をとるようにと言われた。授業の日も給料は払っているので2重取りになるからだと。年休を取らない場合には大学から得た収入は、雑収入として会社に上納しろと。それも変な話だ。大学の給料は、個人に対して税金が源泉徴収される。残った給料を会社に上納するくらいなら、最初から給料をもらうこと自体を辞退した方がまだマシだ。で、辞退していた。

今年で辞めるのは来年3月で65歳で隠居にふさわしい年になったからと表向きは言っている。

でも、本当のことを言うと、大学での教育に限界を感じたからかもしれない。

大学は教育の場というより、就職予備校化してしまっている？

学生はバイトに忙しく、インターン・シップ、企業説明会だで浮かれまくっている。

先生は会議が忙しく、少子化でいかに学生を増やすかで汲々としている。

日本の製造業が、世界で地盤沈下している。生産性の低下が止まらない。大学のレベルがどんどん落ちている。

元々は、会社での若手教育に限界を感じ、それなら大学生のうちにきちんと教えようと思った。そこも限界だと、教職をとっていない自分は高校生は教えられない。

まー、なんの責任もないから、先生はピリオドにして、次何するかはゆるゆる考えようと思う。

アニメが大好きなんで、毎日ケーブルテレビを見る生活にも憧れる。

そこで問題になるのが、小林製菓の紅麴問題だ。

何と言っても、ケーブルテレビのスポンサーはサプリが多い。

ちょっと健康志向の引退した小金持ちの僕らがターゲットだ。

それが、一気に不信感！

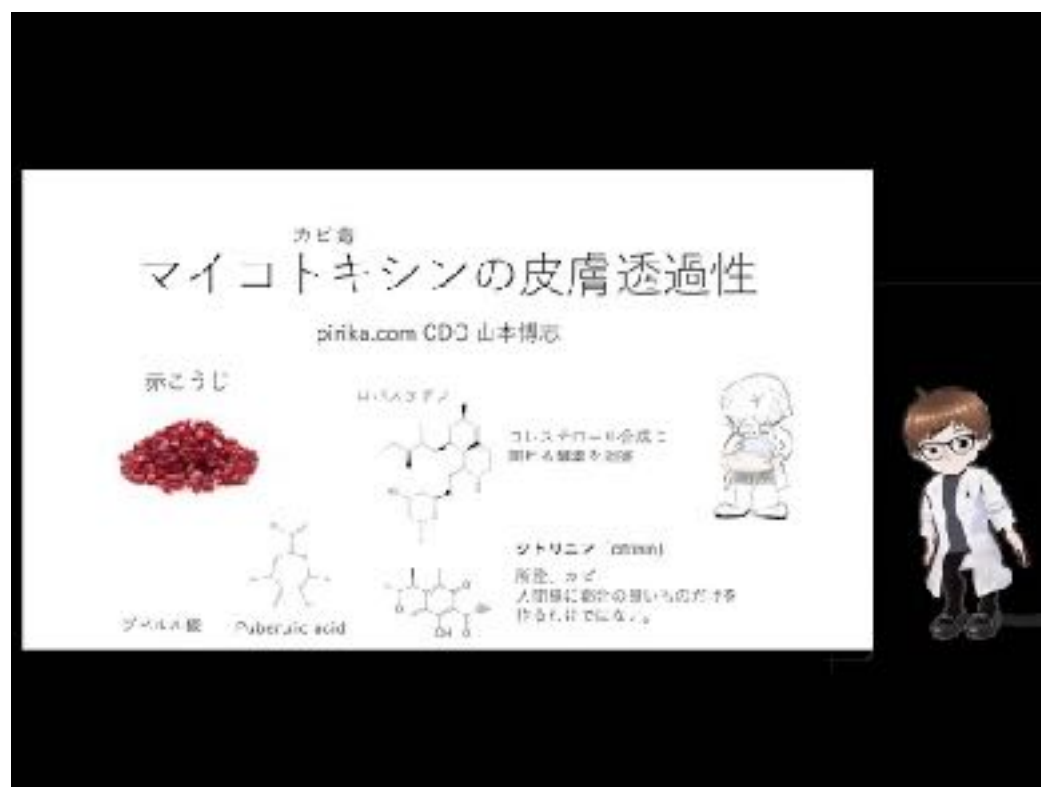
でも誰も「しじみ」サプリを買わなくなってスポンサーが居なくなったら、アニメも見られなくなる？それも困るなー。

「しじみには必須アミノ酸9種類が全部含まれていて」なんていう宣伝は、まー、大豆にも全部含まれているので、小金持を騙しているようなものなのはわかるけど。番組がなくならない程度には誰か騙されてやってくれー。

アバターチュートリアル

小林製薬の紅麹の問題が出たので、すぐにペブルル酸の話をネットにあげた。

カビ毒(ペブルル酸)の皮膚透過性の予測



日本中で、毒性研究をやっている先生はどのくらいいるのだろうか？

論文では、毒性予測ができるようになったとか、経皮浸透の予測している大先生たちは大勢いる。(と思う)

不思議にそうした大先生たちはダンマリを決め込んでいる。
責任のない私は、勝手に予測値を計算してネットに上げている。

論文ネタにならないことで先に何か書いて間違うくらいなら、毒性の結果が出るまで待つ、その結果に対して自分の作ったモデルは正しかったって言う方が楽なのかな。

何のための研究かな？

誰もみたことのない化合物が急に新聞に載っている。

原発は事故が起きるまで、安全神話を疑わなかった。科学者として、とても反省をしている。

化学者として未知の化合物の物性予測をしてきた。
所詮カビのくり出す化合物なので、どんなものができるのかは予測できない。
でも、化合物が特定されたら、自分の知識を総動員して何か書いていく。そうした科学者で
いたいと思う。

評論家にはなりたくないと思う。

プログラミング

講習会用にExcelのtypescriptのプログラムを準備してきた。事前に確認して自動化タブが
ちゃんとあった。動作確認をさせてもらったところ、無効化されていて動かなかった。

化学系の実験系の研究者に、これから教えることは全部Excelの上でできますよ。と言うの
と、Pythonの環境とR Studioをインストールしておいてくださいと言うのでどのくらいの
閾値の差があるか？

ITセクションは全くわかっていない。一律、マクロと自動化タブはセキュリティーのため利
用禁止と言っていれば彼らの責務は果たしたことになる。

日本の研究者はIT、DXリテラシーが低いので生産性が上がらない。リスクルして生産性を
上げよう。

ぜひ講習会で若手を鍛えてください。1.5時間*15回の大学の標準コース。

データサイエンスなんてExcelの上でこんなに簡単にできるんだよって準備したものが、残
念ーん。それ使うの禁止です。

竹槍で戦えという。

現場がどんなに危機感持って、高価な講習会費用を工面しても、やる気がある研究者が時間
を絞り出して参加しても、自動化タブを有効にできる権限を持つのが誰かすら分からない。

まー、本当に危機感を持つなら会社には頼らずに、自分でPCを購入して研究会に参加する
しかないのか。。。

そこまでやる奴も居ないか。

少なくとも、講習会を頼まれたら、その辺りの状況を先に聞かないと、うっかり受けいるこ
ともできない。